# ～ 抄　録 ～

〔論　説〕

## 天皇空位年設定の意義

江　口　　洌

『書紀』は，天皇位に空白があってはいけないことを書いている。しかし『書紀』の紀年構成を見ていくと，その天皇位空白年が六ヶ所もある。それも3年に及ぶ空白もある。

どうしてその空白を『書紀』は認めているのだろう。その理由を探ってみたい。

紀年構成の理解には，暦数と易数への理解が必要である。日の皇子思想を強調する天皇王権は，太陽神と天皇権を重ねる目的で，太陽の運行（暦数）や天・地・人の相関関係の数字（易の三才関係の数字）を神秘化して，天皇紀を創っている。

ここではその空位期間の1つである初代天皇神武崩御年から2代天皇綏靖即位年までの3年間の空位がどうして生じているのか，その理由を探ってみた。

『書紀』時代の天皇を基軸として組み立てられた紀年構成において，神武と綏靖とを「威霊再生の関係」で以て，天武と元明とに関係づけようとした結果であることを説く。

## 中国語指示代詞の性格に関する再論

王　　瑞　来

中国語の指示代名詞について，数年前に筆者は一つの小論を発表したことがある。しかし，それが主に文化的視点からの考察であったものに対して，本稿は，具体的，かつ技術的な問題を論じるものである。まず，指示代名詞という言い方について，中国語指示詞は名詞だけを指すものではない特徴をかんがみ，中国語の文法用語を借用して，単に指示代詞と呼ぶことにする。次に，指示代詞の数量関係について，多くの学者が中国語指示代詞を「単数」「複数」と分けることに対して，その指示代詞自体は数量的性格を

持たず，後に量詞（助数詞）と接続してから，はじめて数量関係を有するようになった，と指摘する。また指示代詞が量詞と接続した後，口語での発音変化があるが，この指示代詞の発音変化について，通説としての「那nèi」「哪něi」の発音表記が適切ではなく，それぞれ「nài」「nǎi」と表記すべきである，と主張する。

## 先秦時代の儒家と道家の言語に対する見方について
## —言と意の関係から—

郭　　莉莉

本論文は先秦時代の儒家と道家の言語に対する見解を言語における「言」と「意」の関係の側面から考察，比較したものである。言語の中の「言」と「意」の関係は中国文芸理論における長い間の重要課題と思われてきた。文学においては「立意」，絵画においても「写意」など，中国の文芸理論は古来より表現主題の精神を代表する「意」を重視し，「言」を通して「意」を表すことに深く関わりつつ，「言」と「意」の関係について探り続けてきた。

一般的に言って，先秦時代の文芸理論で最も注目されている「言」と「意」に関する見解は，「言」と「意」という表現を実際に使用している『易伝』や，『荘子』のなかの「言」と「意」に対する討論である。しかし本論文では「言」と「意」の広い定義を採用し，「言」と「意」という表現を実際に使用していない孔孟と老荘の文学見解に関して「言」と「意」の関係の側面から考察し，先秦時代の儒家と道家の言語に対する認識を解明することを試みた。

## 副詞“也”の用法について

椿　　正美

副詞“也”を含む構文「NP＋“也”＋VP」は，“也”が主部に係る場合には「AもBする」，述語に係る場合には「AはBもする」となり，全体の文意は“也”の用法によって大きく

異なる。従って，訳出の際には“也”の係る位置を正確に判断する必要があり，そのためには用法の推定に対する基準を把握しなければならない。

“也”が述部に係る形式は，「同時存在」が成立する並列複文，時間的経過が発生する連続複文，拡張関係が成立する累進複文の後部に多く見られ，文の特徴として主語の内容が孤立した存在である点が挙げられる。これに対し，主部に係る形式は主語の内容が集合体の一部を成す存在である点が特徴として挙げられ，推定の基準は各構成要素の内容や位置との関連が非常に深い。

〔研究ノート〕

## 倫理学とは何か［2］
## —西洋哲学，倫理学と関連して—

浅　井　茂　紀

この論文は，目次，Ⅰ序論，Ⅱ本論，第1節ヘレニズム・ローマ期の哲学，倫理学—エピクロス学派とストア学派—，第2節キリスト教，教父哲学とスコラ哲学，第3節ルネサンス（*Renaissance*）の哲学，倫理学，第4節フランス，ドイツの啓蒙思想，第5節ドイツ観念論—ドイツ理想主義（deutscher Idealismus）—，第6節ヘーゲル（Hegel）の弁証法（Dialektik）について，第7節アダム・スミス（Adam Smith）の『国富論』（*The Wealth of Nations*）について，第8節カール・マルクス（Karl Marx）の『資本論』（*Das Kapital*）について，Ⅲ結論，（注付）から成立している。

西洋古代，エピクロス，ストア両学派における哲学や倫理学とは何か。中世，キリスト教の成立や旧約や新約の思想，ルネサンスは主な哲学や倫理学を挙げる。近代，イギリス経験論と大陸合理論に対比するフランス，ドイツの啓蒙思想とは何か。ドイツ観念論者カントからヘーゲルまで6人程挙げて，弁証法などの内容を思考する。さらに，スミスの『国富論』とマルクスの『資本論』，両者の経済哲学と倫理学的観点の一端を説明する。これら全体的な体系付けをして，その中身の意義と価値を考慮した一研究論文である。